

災害から命を守る

危機管理防災課 ☎775-5140・☎775-9927

地震や水害などの自然災害は、いつ発生するか分かりません。災害から身を守るために何ができるか、『上尾市災害ハザードマップ』を参照し、家族や近所の人と考えてみましょう。『上尾市災害ハザードマップ』は、市役所、各支所・出張所にあります。市ホームページにも掲載しています。



今月の
イチ面



普段からの備え4カ条

①マイ・タイムラインを作成する **水害**

マイ・タイムラインは、台風や長引く大雨、ゲリラ豪雨などから市民の皆さんの命を守るツールです。災害時の適切な避難行動を市民一人一人が時系列で整理できるマイ・タイムライン作成キットを今年度導入しました。荒川沿岸の自治会や学校を中心に防災士協議会と連携し活用を推進していきます。



マイ・タイム
ライン

②前もって備蓄をする **地震** **水害** (3日～1週間分)

災害時、市や地域で備蓄している物だけでは、全てを賄えません。各家庭でも備蓄を進めておきましょう。主な備蓄品は、以下のとおりです。

- ※詳しくは、『上尾市災害ハザードマップ』をご覧ください。
- 飲食品 (最低3日分の食糧・飲料水(1人1日3ℓ))
- 生活用品 (懐中電灯、ラップ、ガムテープ、レジャーシート、筆記具など)
- 貴重品 (身分証明書、保険証、携帯電話、印鑑など)
- 衛生用品 (マスク、タオル、ウェットティッシュ、生理用品、歯磨き具など)
- その他 (ヘルメット、救急用品、レインコート、上着、下着、新聞紙など)

③災害時の連絡方法を決めておく

地震 **水害**

- 集合場所・避難場所
- 災害時の連絡手段 (災害用伝言サービスなど)
- 行き先のメモを残す場所と方法
- 連絡の取り次ぎ先 (遠方の親戚・知人など)

④家具・家電の転倒防止や耐震診断を受ける **地震**

(1)家具・家電の転倒防止

過去の震災では、家具・家電の転倒で多くの方が亡くなっています。災害時にけがなく生活するためにも、対策をしましょう。

(2)木造住宅の無料簡易耐震診断

市では、平成12年5月末までに着工された2階建て以下の木造住宅(工業化住宅を除く)の簡易耐震診断を無料で随時受け付けています。また、木造住宅の耐震診断・耐震改修に対する補助制度があります。詳しくは建築安全課(☎775-8490・☎775-9906)へ問い合わせてください。

コロナ禍での避難4カ条

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。自らの命は自らが守る意識を持ち、適切な行動をとりましょう。

- ①避難とは「難」を「避」けること
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- ②避難先は、指定避難所42カ所
だけではない
安全な親戚・知人宅に避難することも視野に入れてみましょう。
- ③マスク、消毒液、体温計の持参
可能な限り自ら持参してください。
※各家庭で備蓄している食料や水、毛布についても、可能な限り持参してください。
- ④豪雨時の車中泊の注意
やむを得ず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分確認してください。



災害時、正確な情報を集めるために

テレビやラジオの他、県や市で行っているメールによる災害情報の配信サービスなどを活用し、災害情報や避難所開設情報など正確な情報を集めましょう。水害については、気象庁ホームページを確認してください。

また、8月には開平橋(平方)に荒川の水位状況を確認できる河川監視カメラを設置し、市ホームページで映像を公開しました。この他、市内5カ所の河川でも映像を公開しています。 ☎河川課☎775-9381・☎775-9906

地震 **水害**



災害関連
情報



河川監視
カメラ



災害時の
情報伝達
手段



気象庁
ホームページ